

平成 21 年 5 月 8 日

各 位

会社名 株式会社ディーワンダーランド
 代表者名 代表取締役社長 脇村 正紀
 JASDAQ・コード 9611
 問い合わせ先
 役職・氏名 代表取締役社長 脇村 正紀
 電話 03-5421-6111

平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 2 月 2 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計期間の連結及び個別業績予想の修正

(平成 20 年 10 月 1 日 ～平成 21 年 3 月 31 日)

(1) 連結第 2 四半期累計期間業績予想 (金額の単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,076	944	760	139
今回修正予想 (B)	5,894	555	394	△66
増減額(B-A)	△1,182	△389	△366	△205
増減率(%)	△16.7	△41.2	△48.2	—

(2) 個別第 2 四半期累計期間業績予想 (金額の単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	76	△59	△64	△269
今回発表予想 (B)	3	△80	△85	△370
増減額(B-A)	△73	△21	△21	△101
増減率(%)	△96.0	—	—	—

2. 平成 21 年 9 月期通期の連結及び個別業績予想の修正

(平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(1) 連結通期業績予想

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	14,601	1,976	1,609	572
今回発表予想(B)	11,927	1,151	739	△60
増減額(B-A)	△2,674	△825	△870	△632
増減率(%)	△18.3	△41.8	△54.1	—

(2) 個別通期業績予想

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	226	△131	△142	△343
今回発表予想(B)	226	△149	△163	△368
増減額(B-A)	0	△18	△21	△25
増減率(%)	0.0	—	—	—

3. 第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正理由

個別業績予想につきまして、当社は子会社の株式会社大黒屋が所有するブランド品リサイクルのノウハウを活用した、中古ブランド品のインターネットによる買取と販売に取り組んでおり、第2四半期後半での売上計上を見込んでおりましたが、訴訟の対応等へ人材を割いたことによる人材不足に伴うインターネット事業への展開の立ち遅れなどにより、第 2 四半期累計期間での売上の計上には至りませんでした。販管費等については概ね予想通りですが、売上高の減少により営業利益、経常利益および当期純利益についても修正することになりました。インターネット事業は、訴訟も解消したことから取り組みを強化し、下期での売上計上の開始を見込んでおります。しかしながら、インターネット事業の立ち遅れによる費用の増加により、通期業績予想の損失が若干拡大する見通しです。

連結の業績予想につきましては、子会社大黒屋におきまして景気の減速、地金相場の変動、円高等により宝石・貴金属、高額時計、ブランドバッグ等の買取及び販売相場が影響を受けるとともに、景気減速に伴う個人消費の減退の影響を受け、売上高及び粗利益率の確保が難しい状況となっております。第 3 四半期会計期間以降においても、上記要因が解消されることは難しく、当社業績は引き続き厳しい状況となることが予想され、通期業績の計画値確保が困難な状況となっております。利益面につきましても、景気減速に伴う個人消費の減退から、販売価格の下落による売上高の減少、および粗利益率の低下は引き続き続くものと予想されますので上記のとおり修正いたします。

(注) 当該予想は、本資料の作成時点で入手可能な資料に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以 上